

魔法の言葉

全校の皆さん、おはようございます。

今日は、「魔法の言葉」について、お話をします。

ここで、皆さんに質問です。「魔法の言葉」と聞いて、どんな言葉を思い浮かべますか。

実は、先月、こんなことがありました。

校長先生は毎朝校舎の中を「おはようございます」をしながら歩いているのですが、1年2組の廊下を通りかかった時に、2組のお友だちが名札をつけていました。しかし、うまくつけることができずに困っていました。するとそのお友だちは校長先生を見つけて、「校長先生、これ付けてください」とお願いしてきました。先生は、「いいよ」と言って付けてあげました。

つけ終わった時に、そのお友だちは校長先生に何と言ったでしょうか？

「ありがとう」ここで、1年生のお友だちは「ありがとう」と先生に言いました。

この「ありがとう」という言葉を言ってもらった校長先生は、どんな気持ちになったでしょうか？

正解は・・・とっても嬉しくなり、心が温かい気持ちになりました。お願いされたこととはいえ、「つけてあげてよかったな」と思いました。

魔法の言葉の正解は、「ありがとう」です。

皆さんも、先生と同じような体験をしたことはありませんか。

では、皆さんはどんな時に、「ありがとう」という言葉を言いましたか？

実際、「ありがとう」は、「あなたのおかげで助かったから、私は嬉しい」という気持ちを表現したもので相手がしてくれた親切や助けてくれたことに対して感謝する言葉です。

そして、誰かのために何かをしてあげて、「ありがとう」と言われた時、みなさんはどんな気持ちになりますか。

「ありがとう」を言われた人は、きっと「誰かのためにお手伝いできてよかった。嬉しい」と思うと思います。たとえどんな小さなことでも、「ありがとう」と言われることで、自分のした行動が誰かのためになって良かったと思うことができます。

そして「やってもらった人」「ありがとうと言われた人」の関係は、お互いが相手のことを大切に思えるので、今まで以上に仲良くなれます。お友だちともっと仲良くなりたい、と思っているお友だちがいたら、その人のために行動してみてください。そこで「ありがとう」って返ってくることで、もっともっと仲良くなれると思います。

つまり、「ありがとう」は、言った方も言われた方も、心が温かくなる「魔法の言葉」なのです。

「ありがとう」は、単なる言葉ではなく、心と心をつなぐ大切なメッセージです。

皆さんが過ごす川辺小学校の毎日の学校生活の中で、この「ありがとう」という言葉があふれたら、みんな仲よしになれると思いませんか？

ここにいる全員で、「ありがとう」がいっぱいで、みんな仲よしの川辺小学校にしていきましょう。

最後まで聴いてくれてありがとう！ おわります。